

設置するだけで「落ちない」現場に早変わり！！

常設型転落防止システム『アクロバット』

TV番組「ええじゃない課Biz」に出演決定(放映日:3/31)

株式会社G-Place(本社:京都府長岡京市)で、建設資材やリサイクル建材の販売事業を行う設備資材事業グループが総輸入販売元として取り扱う**常設型転落防止システム「アクロバット」**は、TOKYO MXの**ビジネス情報番組「ええじゃない課Biz」**に出演することが決定しました。

番組ではアクロバットを実際に設置・活用している現場の様子や、出演者の方によるデモ体験の様子などをご覧いただける予定です。

【放映予定日】2024年3月31日(日)25:40~26:10/TOKYO MX

【アクロバット製品公式サイト】<https://akrobat.jp/>

常設型転落防止システム「アクロバット」が

ビジネス情報番組 **ええじゃない課Biz** に出演します！



高所安全対策のスペシャリスト
Akrobat

3月31日 (日) 25:40~26:10
TOKYO MX (デジタル9ch)

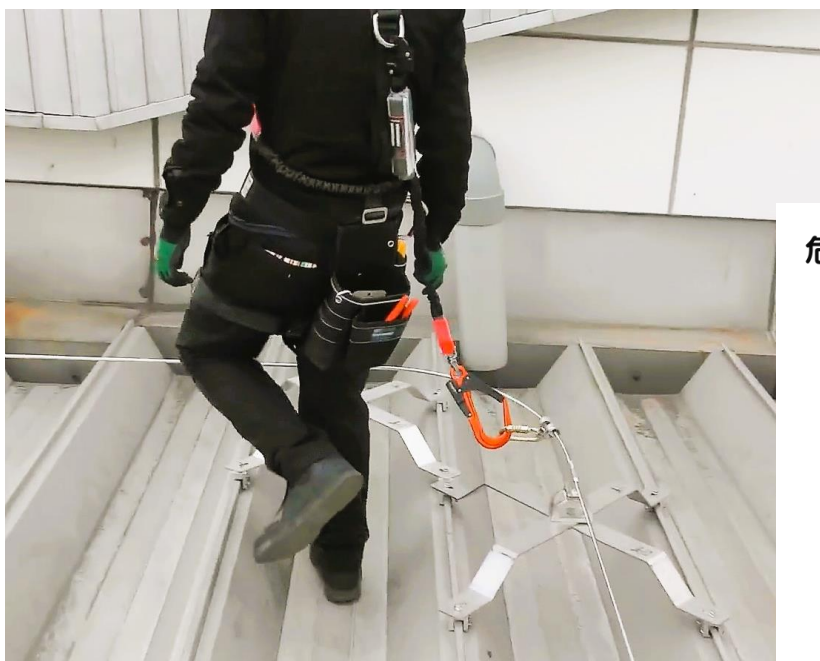
常設型転落防止システム「アクロバット」とは？

「アクロバット」は製品名であり、またシンガポールにあるメーカーの社名です。

高所作業現場の建物側に常設する墜落・転落防止のための製品で、日本ではまだ規格化されていないレストレイントシステム※の国際規格(EN規格)に準拠しており、メーカー所在地のシンガポールを中心に、国内外で700件を超える豊富な設置実績があります。

『すべての作業者の命を墜落・転落事故から守る』というメーカーの使命を受け継ぎ、日本国内では株式会社G-Placeが総輸入販売元として、『高所作業時の事故を「ゼロ」に！』をスローガンに安心・安全な労働環境づくりのためその普及をめざし尽力しています。

※レストレイントシステム(restraint system)…墜落・転落事故を未然に防ぐことを目的とした落ちないための対策のこと



左:水平型ワイヤータイプ
下:レストレイントシステムのイメージ

危険箇所への接近を防ぐ



▼設置事例

・水平型ワイヤータイプの設置事例

<https://akrobat.jp/project/horizontal-project>

・垂直型ワイヤータイプの設置事例

<https://akrobat.jp/project/vertical-project>

・懸垂型ワイヤータイプの設置事例

<https://akrobat.jp/project/suspended-project>

▼関連リリース

「アクロバット」常時ぶら下がりOKな親綱『レールタイプ』を日本ではじめて設置し始動

<https://www.atpress.ne.jp/news/341489>

アクロバット製品の5つの特徴

◇ヨーロッパEN規格に準拠

墜落・転落防止システムには国際規格※があり、アクロバット製品はヨーロッパ工業規格であるEN規格に準拠しています。 ※工業規格が定められているものに関して日本ではまだ規格が定められていません。

◇豊富な実績をもとにさまざまな建物・状況に対応可能

日本で多く使われているハゼ式折板屋根であれば穴あけ不要で設置が可能です。また、コンクリート屋根やその他の屋根材・壁面にも社内専門技術者が個別設計を行い対応します。

◇短工期での設置が可能

通常規模の現場であれば、工期は1～3日程度ですぐにお使いいただけます。

※輸入部材の納期が不安定なため、余裕を見てご相談ください

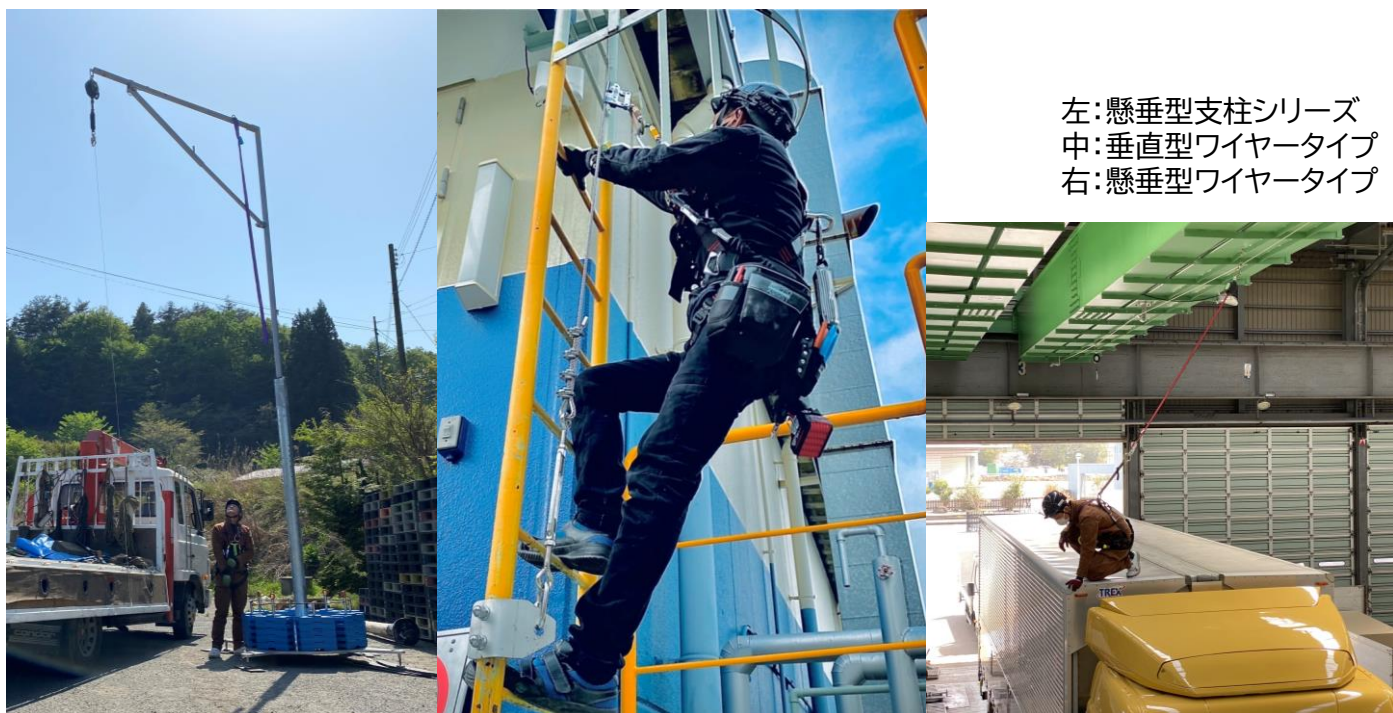
◇建物や環境に調和するデザイン

機能性だけでなく高いデザイン性が認められ、世界のランドマーク建築物※でも多数採用されています。

※マリーナベイ・サンズ(シンガポール)、ドバイ国際空港、アブダビ国立展示場 など

◇施工後も安心を守る定期点検サービス

設置後は1年毎に点検作業を行い、長期間の安心・安全をお約束します。導入時に3年間の無料保守点検をお付けします。



左:懸垂型支柱シリーズ
中:垂直型ワイヤータイプ
右:懸垂型ワイヤータイプ

【製品概要】

製造者 : Akrobat Pte. Ltd. (アクロバット・プライベート・リミテッド、シンガポール)

導入実績 : 東南アジアを中心に世界で700件以上。国内の設置件数も続々増加中。
(空港、工場、展示会場、公共施設、商業施設等に設置)

資料請求 : <https://akrobat.jp/download>

フルハーネス着用義務化によって表面化した『フックを掛ける先がない』問題

日本では毎年200人を超える方が高所作業中に墜落や転倒が原因で命を落としており、負傷者を含めるとその数は2万人を超えています※。

これまでは胴ベルト型とハーネス型の安全帯が用いられてきましたが、いよいよその安全性が見直されることとなり、労働安全衛生法施行令と労働安全衛生規則の一部改正により、安全対策の強化としてフルハーネス型墜落制止用器具の着用が2019年2月1日から義務化されました。

これにより欧米ではスタンダードであるフルハーネス型墜落制止用器具が、日本でも一定の高さ(6.75m以上の高所/建設業では5m以上で推奨)において着用を義務づけられることとなりました。



2022年1月2日からは旧規格品の販売・着用が禁止となり、実質的な新規格フルハーネスの着用義務化が始まっています。このフルハーネスの着用義務化に伴い、多くのお客様からの「ランヤードフックを掛ける先がない！」という相談が急増しており、建物設備側の高所安全対策の遅れが表面化しています。

※参考:厚生労働省. 令和4年 労働災害発生状況,P3(公表 2023-05-23)

<https://www.mhlw.go.jp/content/11302000/001100029.pdf>

<株式会社G-Placeについて>

1968年に「日本グリーンパックス」として事業をスタート。2019年5月、創業50周年を機に現社名に変更しました。「アイデアで未来をつくる、創造総合商社」を掲げ、さまざまな分野で独自性のある商品やサービスを提供しています。創業から一貫して、全国自治体のごみ減量を支援する事業を柱にしており、現在では、高所安全対策製品や再生樹脂製品の販売、天然成分由来にこだわったオリジナルの化粧品や雑貨類の企画・販売、海外家電製品の輸入販売なども行っています。海外にも拠点を設け、積極的に事業を展開中です。2020年からは当社の株の100%を一般財団法人辻・山中財団(辻は正式には一点しんじょう)が保有する体制に移行しており、当社の得た収益の一部は配当金として財団に支払われたのち、社会に対し意義のある事業に寄付される仕組みになっています。

【リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社G-Place
経営企画グループ 広報:中山
Email:y-nakayama@g-place.co.jp

【製品の取り扱いに関するお問い合わせ先】

株式会社G-Place
ライフスタイル事業グループ
Email:contact@g-place.co.jp

【会社概要】

商号:株式会社G-Place (読み:ジープレイス)
所在地:〒617-0835
京都府長岡京市城の里10-9
創業/設立:1968年5月7日/1969年5月16日
代表取締役社長:綾部英寿
公式HP:<https://g-place.co.jp>